

2022年度 NPO法人津山・きびの会活動方針

4月23日コロナ禍ではあるものの、感染対策に気をつけながら、総会を開催しました。

今年度の活動方針を皆様にお伝えします。総会に先立ち4月19日には、市長面談の時間を頂き再度私たちの要望を伝えま



した。2021年4月改正社会福祉法が施行され近隣市町村では、「ひきこもり支援センター」設置への動きが加速し、それぞれの地域に根差した「ワンストップ・ステーション」が準備されつつあります。私たちは、蓄積してきた経験を活かしながら行政とのつながりを模索しつつ、美作大学菅原ゼミと協働して「ひきこもりに関する専門的な活動拠点」作りを目指していきましょう。地域に活動の場を広げ一人一人を大切にすまちづくりを願っていきます。

年間行事計画（行事の実行に関しては、定例会で詳細を決めます。皆さんご参加ください。

- 1・要望書の実現に向けて協働できる道を模索する
- 2・市民に向けた「ひきこもり家族教室」を実施する
- 3・ピアサポーターやサポーター研修会・交流会・応用研修会などを実施する
- 4・交流の場としての「トトロ・サロン」は、隔月開催を目指す
- 5・にぎわい市への参加は、若者たちの支援を必要とする
- 6・味噌作りやコンニャク作りは、季節の楽しみ事として続けていく
- 7・トトロ通信の発行
- 8・先進地への視察
- 9・助成金の申請や寄付活動の努力を継続していく
- 10・zoom活用教室を実施する

理事長 川島和子

WRAP ファシリテーター養成研修について

2022年3月24日から3月30日まで（研修は25日から29日まで5日間連続）東京へWRAP ファシリテーター養成研修に行ってきました。

WRAPとはアメリカ発祥で日本語に直すと「元気回復行動プラン」と言います。

私がWRAPに出会ったのは約6年前です、そこから徐々にWRAPの楽しさを知り、市内や県外のWRAP集中クラスへ4回参加し、自分も参加者側から進行者側へ進みたいと考えるようになりました。

2020年東京でWRAP ファシリテーター養成研修が開催されることを知り申し込んだ矢先にコロナウィルスが発生し、中止になってしまい、そこからZOOMでの集中クラスはありましたがファシリテーター養成研修はありませんでした。

そして昨年末東京でファシリテーター養成研修の募集があり、すぐに申し込みをしました。

そしてこの度、WRAP ファシリテーターとしての第一歩を踏み出すこととなりました。

今までの参加者側の時は回答することにパスができていましたが、ファシリテーター養成研修ではパスすることができません。

内容も濃密なものでした。著作権のこともあり詳しくはお伝え出来かねますが、自分で自分の強みや弱み、こういうところに注意をしなければならない等様々なことを5日間で学んできました。

1人で飛行機の乗り、1人でモノレールや電車の乗り換えをし、とても大変なことでしたが私にとっては最高の1週間の東京生活でした。

そして良い仲間もたくさんでき、今でもZOOMで会うこともあります。

離れていても相談できたり、世間話をしたりもできます。

時代は変わりましたが、オンライン化の世の中になり、研修自体は対面でないとできませんでしたが、WRAP集中クラスは対面方式でもZOOMを使ってのハイブリット方式でもできます。

コロナ禍でもやり方はいろいろとあります。

これからの世の中に沿ったやり方で、またファシリテーターとしても参加者目線で取り組み、何年たっても初心を忘れずに頑張っていきます。 永禮 彩花